

こども・若者の意見聴取

唐津市こども・若者ヒアリング
～からっ子 VOICE～2025

報告書

開催概要

●開催主旨

「からっっこまんなかプラン（唐津市子ども計画）」の策定にあたって、唐津市に住む子ども・若者の状況やニーズ、日ごろ思っていること等について生の声を聞き、より実効性のある施策を検討するための取り組みとして、「唐津市子ども・若者ヒアリング～からっっこ VOICE～2025」を実施しました。

●開催日時・場所

令和7年12月20日（土） 10：00～12：15

唐津市役所 1階市民ホール

●参加者

唐津市内在住の16歳から39歳までの人

10代：3名、20代：6名、30代：5名 合計 14名

（高校生2名、大学・専門学生：2名、社会人：10名）

●内 容

3つのテーマについて、3つのチーム「グランブルーチーム（10代）」「8-carat チーム（20代）」「アルピノチーム（30代）」に分かれてグループトークを行いました。各テーマは、ワークショップ方式（KJ法）で自由に意見を出し合い、最後にチームごとの発表を行いました。

各チームのテーブルにファシリテーター及び書記として計画関係課の職員がつき、進行や話し合いを補佐しました。



結果の概要

【テーマ1】唐津市のよいところ・よくないところ

唐津市のよいところはどのようなところですか？

【グランブルーチーム（10代）】

- 海が近い、海がきれい（友達と遊びに行けて、夏に嬉しい）
- 「虹の松原」や「七ツ釜」などの自然がたくさんある
- 地震などの災害が少ない
- 人がたくさん集まるお祭りがある（唐津くんちや浜崎祇園など）
- 都市部へのアクセスが比較的良い
- フレンドリーな人が多い（都市部で生活すると近所づきあいが無い）
- 人混みが少なく、落ち着いている
- ある程度なんでもあって、ちょうどよい
- ご飯がおいしい

【8-carat チーム（20代）】

- 優しくあたたかい人が多く、近所付き合いが良い
- 唐津に住んでいる人は、唐津を好きな人が多い
- 自然災害が少ない
- 海・山・川等の自然が豊か
- 食べ物がおいしい、居酒屋が多い
- 「唐津くんち」などの伝統文化があり、みんなで盛り上がる
- 歴史的なお祭りや建物・史跡・観光資源が多い
- 人混みや行列が少ない
- 都会ではないけれど、特に不便がない
- 程よく田舎で、地域で子どもを育てる雰囲気があり、子育てがしやすい
- 「唐ワンくん」がいる

【アルピノチーム（30代）】

- 優しい・あたたかい人が多い
- 自然が豊か、海が近い
- 「唐津くんち」など伝統文化がある
- 福岡へのアクセスが良い
- ある程度のお店がある
- 人が少なく、穏やか
- 食べ物がおいしい（特に海鮮）
- 物価が低い
- 犯罪が少ない

唐津市のよくないところはどのようなところですか？

【グランブルーチーム（10代）】

- 遊ぶ場所が少ない（休日は市外・県外へ行くことが多い）
- 就職・進学先が少ない
- バスが少ない、バス停も少ない
- 家賃が高い
- 人口が少ない

【8-carat チーム（20代）】

- 娯楽施設が少ない
- 道が狭く、渋滞が多い
- 家賃が高い
- 給料・収入が低い
- 就職先の選択肢が少ない
- 担い手・人手不足

- 小児科が少ない
- 若者が少なく、老々介護やヤングケアラーが多い
- 唐津市の中心地から離れると買い物が不便
- 駅周辺の施設等が充実していない
- 閉鎖的な面もある
- 公共交通機関が少ない（車を持つとあまり感じないが、学生の際は不便に感じた）

※ショッピングモールなどは少ないが、近隣の福岡・佐賀に行くことが多く、それほど不便には感じていないという意見が多かった。

【アルピノチーム（30代）】

- 学生や若者が集まる場所が少ない、写真映えるスポットが少ない
- 電車・バスの本数が少ない（車が必要不可欠で、高齢者が困る）
- 夜道が暗く、街灯が少ない
- 大きな公園がない
- 大学、短大がない
- 大きな病院が少ない、小児科が少なく混んでいる
- 雇用が少ない、市内に大きな企業が少なく、就職先が少ない
- お店が少なく、商店街が盛り上がらない
- 家賃が高い
- 水道料金が高い
- テレビを見るのにケーブルテレビの契約が必要



【テーマ2】若い世代が住みたい、住み続けたい街の条件

若い世代が住みたい、住み続けたい街の条件はどんなことだと思いますか？

【グランブルーチーム（10代）】

- 公園や体育館がたくさんある
- 遊ぶ場所がたくさんある
- 公共交通機関が利用しやすく、郊外へのアクセスも良い
- 働く場所・職業の選択肢が多い（実際に唐津でしたい職業がなく、進学を選択した）
- 子育てしやすい環境がある
- 優しい人が多いまち
- イオンのような商業施設が多くある
- 唐津にしかないものをつくる（特色のある街になれば、人が来るようになる）

【8-carat チーム（20代）】

- 買い物しやすい、家賃が高くない
- 生活に不便が少ない環境
- 育児がしやすい環境
- 安全な遊び場・大きな公園がある
- 給料が高く、仕事の選択肢が多い
- ワークライフバランスが取れる
- 同年代・多世代交流ができ、どの世代でもやりたいことができる（人生を楽しめる環境）
- 大きいイベントがある（唐津では「唐津くんち」「唐津フェス」など）
- 子育て世帯だけでなく、単身世帯にも優しい街
- 若者が気軽に集まることができる施設がある
- 進学の選択肢が多い、スポーツにも力を入れている学校がある

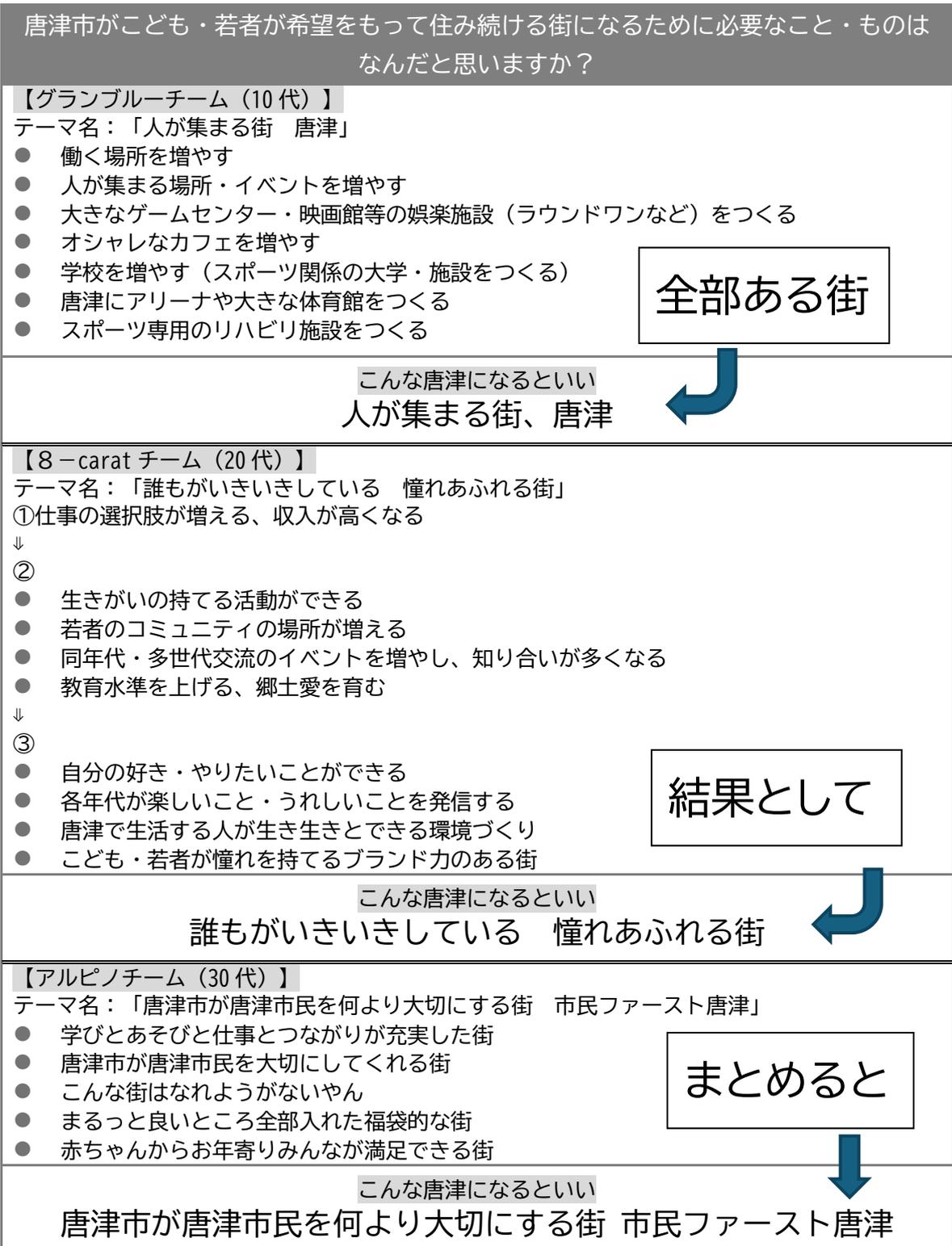
【アルピノチーム（30代）】

- 進学先の充実、就職先の充実、雇用の安定
- 子育てしやすい環境
- 小児科が多い街
- 大人も楽しめるこども向けのイベントがある
- 趣味を楽しめる街
- 観光地としての充実、観光地のアピールに力を入れている
- 異性との出会いの場があり、結婚を考えることができる
- 友人が多くいる
- 交通の便を良くする
- 生活にかかるコストが低い
- 買い物する場所・選択肢が多い、大きい商業施設がある
- こどもの遊び場・娯楽を増やす
- 人も街も明るい雰囲気がある（若者が増えると街が明るくなる）

※唐津の場合は、就職先の関係で唐津を離れ、若者が少なくなっている印象がある。



【テーマ3】唐津市が子ども・若者が希望を持って住み続ける街になるために必要なこと・もの



参加者のコメント

- 唐津を一度離れて戻ってきた人、ずっと住んでいる人など、立場の違いによる多様な視点があった。
- 年代によって意見は異なるが、似通った意見は地域共通の課題であり、改善の余地があると感じた。
- 公園や遊び場など、身近な生活環境が思った以上に不足していることに気づいた。
- 唐津について、知らない人と意見交換する機会が新鮮で楽しかった。
- 意見を書き出すことで、唐津の良い点と改善点を客観的に認識できた。
- 市外に出た経験のある人の話から、唐津の良さを再認識できた。
- 就職しても唐津で生活したいと考えている。
- 若者が希望を持てる街にする必要性を強く感じた
- 各年代が描く未来像の違いが興味深く、共通点も多く納得感があった。
- 足りない部分が明確になり、改善すればより良い街になるという前向きな認識が共有できた。
- 自分は市役所職員であり、改善に関われる立場として努力したい。

発表時の掲示

【グランブルーチーム (10代)】



【8-caratチーム (20代)】

① 仕事 最前線 収入 ↑

② 定住者の 村活動 が 多い

③ 誰もがいきいきしている
憧れあふれる街

8-caratチーム

【アルピノチーム (30代)】

唐津市が唐津市民を
何より大切にする街 市民第一唐津

アルピノチーム